

■活動紹介シート

|      |                           |  |     |                             |
|------|---------------------------|--|-----|-----------------------------|
| 名称   | 高砂市 若年性認知症とともに歩む 「子いるかの会」 |  |     |                             |
| 問合せ先 | 住所                        | 〒676-0023<br>高砂市高砂町松波町4 4 0番地の3 5<br>高砂市ユーアイ福祉交流センター   |     | 問合せ先<br>高砂市社会福祉協議会<br>地域福祉課 |
|      | TEL                       | 079-444-3020   | FAX | 079-443-0505                |
|      | E-mail                    | <a href="mailto:tast3020@takasago-syakyo.or.jp">mailto:tast3020@takasago-syakyo.or.jp</a>          |     |                             |
|      | HP                        | <a href="https://www.takasago-shakyo.or.jp/">https://www.takasago-shakyo.or.jp/</a> (講座・募集情報のページ内) |     |                             |

【活動内容】

★目的・・・若年性認知症の本人やその家族、とともに歩む人々が集い、お互い楽しく交流し、介護の情報交換や情報発信、ケア学習などを行い、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指します。

【子いるかサロン】(お散歩、お花作り、輪投げ大会、食事会など)

～本人や家族、サポーターなど、みんなで楽しむサロンです～

★日時・・・基本第3日曜日、13:30～15:30

(開催しない月もあります。詳しくはホームページでご確認ください)

★場所・・・高砂市ユーアイ福祉交流センター2階 交流スペース

★参加費・・・300円(部屋代・お茶菓子代等)

【家族の日】

★日時・・・毎月第1月曜日、10:00～12:00

★場所・・・高砂市ユーアイ福祉交流センター2階 登録団体連絡室

【介護相談】

★日時・・・偶数月の第1月曜日、14:30～15:30

★場所・・・高砂市ユーアイ福祉交流センター1階 研修室

\*上記内容は、いずれも変更される場合がありますので、詳しくは上記ホームページでご確認ください。

## メッセージ

若くして、認知症と診断され、戸惑い、不安、焦り...  
そんな思いでののでは？

勇気を出して話してみましょ  
聞いてみましょ  
仲間をつくりたいのです  
語り合い、  
知恵を出し合い  
一緒に考え、  
歩んでいきたいのです

認知症になっても  
本人たちの心は生きているのです  
今までどおりでいたいと  
心から願っているのです

本人も家族も心開ける  
仲間・時間・場所  
それが「子いるかの会」  
なのです



サポーター手づくりの  
「子いるかの会の案内」



花を楽しもう

## みんなで楽しむサロン



サイコロゲームで語り合おう

最年少サポーターの  
Hくん 9か月



サロンに馴染めないSさんも、  
Hくんの頭を撫でながら  
「かわいい!」

最高年齢サポーターの  
Kさん 82歳



奥田夫妻、胃ろうをしても  
アイスクリームを「ガブリ!」



Kさん夫妻とサポーター

## サロンに来れなくても仲間



「リフト」でラクラク移乗



これが「リフト」  
サポーターの  
作業療法士から  
助言を得られ  
れます

若年性認知症は、現役世代で発症するため、就労や子育て、親の介護といった高齢者とは異なった生活課題があります。家族の日には、利用できる制度などを紹介したり、手続きのお手伝いもしています。家族の日にご都合が悪い方は、別日を設けますので、ご遠慮なくご相談ください。

また若年性認知症の親と共に生きる子ども世代の会「∞むげん」、市民団体「つなぐ手と手」、他の家族会等と連携して、やさしいまちづくりを進めています

**【メッセージ】** ~勇気を出して話してみましよう 聞いてみましよう~

認知症になっても心は生きているのです。

今までどおりでいたいと心から願っているのです。

本人も家族も心開ける『仲間』『時間』『場所』・・・それが『子いるかの会』なのです。